

教育委員会における自己点検及び評価（内部評価）

1. 内部評価結果（総括）

平成23年度においても、本市教育水準の維持向上に努め、概ねその職責を果たした。

前期教育委員会を勉強会と位置付け、テーマを設定して、その現状と課題について事務局とともに考えていくスタイルは今年度さらに定着した感がある。規則で開催が義務付けられている定例教育委員会での議事だけでは、なかなか話題に上らない問題に対して認識を新たにする機会を得たり、今日的な課題について掘り下げて議論する場にもなり、委員会活動の奥行きを広げる役割を担った。

社会教育やスポーツ振興、幼児教育など幅広い視野をもって活動することの必要性については、来年度も引き続き心がけたいところである。

2. 評価シート①：「教育委員会の活動状況」

* 教育委員会の構成について

- ・ 教育委員会の構成については適正である。

* 教育委員会会議の開催状況について

- ・ 開催数、延べ出席数とも十分だと考えるが、前期教育委員会の開催数が減となった。平成22年度から、前期教育委員会を勉強会と位置付けたところであるが、今後のテーマ等について、一定の整理を行い、来年度からさらに活発な開催を行いたい。

なお、前期教育委員会を勉強会と位置付ける取り組みにより、委員が現状理解を深め、それにより会議での議論が深まり、会議が活性化することから、今後も継続し、議論を通じて委員と事務局が課題を共有していきたい。

- ・ 会議に出席する各課かい長から、各課及び施設の状況等についての説明を求めるという議事運営上の工夫を行ったことで、現場の状況が把握でき、議題に対する理解を深めることができた。
- ・ 会議開催にあたり、Eメールや郵送等で事前に資料が送付されたことで、議題を十分に吟味でき、議論に深まりがあった。

* 教育委員会会議の公表状況について

- ・ 開かれた教育委員会とするため、より迅速に定例教育委員会の議事要録をホームページに公開すること、また、委員会の開催期日を事前にホームページに公開するなど、昨年度に引き続き積極的な情報公開に努めた。
- ・ 今後についても、より傍聴しやすい環境づくりに努めていきたい。

* 行政等が主催する行事への出席状況について

- ・ 出席回数については十分であった。また、行事について出席努力・自主判断の区別を行っているが、その基準に従った出席を行うことで、教育委員としての職責を果たした。
- ・ 平成23年度は生涯学習のまちづくり計画、徳育推進、地区公民館の体制の大きな変更等、社会教育に関する施策について大きな変更が生じた年であった。このことから、それぞれの項目を検討する委員会の傍聴、また、社会教育委員の会との連携を深める必要があった。来年度からは、特に社会教育委員の会との連携を深める取り組みを行いたい。
- ・ 教科用図書採択年度ということでもあり、教科書採択審議会等の会議の傍聴、また、委員それぞれが精力的に研さんを深めたことで、公平・公正な採択ができた。
- ・ 来年度においては、小中学校校長研修会への出席の時期を、人事異動間もない4～6月にすることで、教育委員の所信を伝える機会としたい。

* 議会出席状況について

- ・ 教育委員会委員長だけが出席するのではなく、教育委員の全てが出席することで、市民代表と

しての議員各位の考え方に接することができた。

- ・ 本会議（一般質問）にあたり、教育委員会委員長の答弁を求められるケースが多くなってきていることから、より一層事務局との連携の必要性があると考えます。

＊ 首長との連携について

- ・ 平成23年度も開催することができた。今後も引き続き継続する必要がある。

＊ 教育委員の自己研鑽について

- ・ 積極的な資質向上に努めた。
- ・ 学校教育に限定することなく、幼児教育・社会教育・スポーツ振興等、教育全般にわたる研鑽をさらに深めることで、今後の議論の活性化につなげていきたい。

＊ 学校訪問について

- ・ 学校訪問の出席率については、殆ど欠席がない状況であり、学校現場の状況把握に努めたと評価できる。
- ・ 学校訪問（学校経営の説明、授業の様子、地域との連携等）は、市教育行政の浸透ぶりをうかがうバロメーターでもある。学校経営の実情についての委員や事務局との意見交換の後に、適切な評価が行われている。教育委員の重要な職務であることから、今後もこの方式を継続したい。

＊ 教育に関連する外部団体との意見交換について

- ・ 文教厚生委員会との意見交換を行うことで、議員各位のご意見をうかがうことができた。
- ・ 行政等が主催する行事等での評価と重複するが、社会教育委員の会との連携を深めていきたい。

3. 評価シート②：「教育委員会が管理・執行する事務」の内部評価

- ・ 昨年度に引き続き、予算編成に教育委員の意見を反映できる時期に会議を設定したことで、首長に対し、教育委員会の意見を伝えることができた。
- ・ 従来の自己点検及び評価の結果により、会議資料の事前送付など様々な改善を図ってきた効果として、活発な議論が展開された。

4. 評価シート③：「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」について
別紙のとおり